

総合クラブひろかわ

正しい感染症予防を学ぶ ～健康セミナー開催～

総合クラブひろかわが11月27日(金)、町民交流センター「いこっと」で、新型コロナウイルスやインフルエンザなど感染症予防について学ぶセミナーを行いました。

講師は感染管理認定看護師である中西さん(医療法人八女発心会姫野病院)。参加者25人は、口から出る飛沫が時速340キロメートルで飛び散ること、約30秒かけて手を洗わなければならないことなどを知り、驚いた様子でした。



受講者の声

- ・マスクをつけることの大切さが分かりました。つけ方や外し方にも気を付けなければならないと思いました。
- ・家族がよく触れるドアノブや電気のスイッチ、リモコン、トイレのレバーなど、ウイルスが付きやすい場所はキッチンハイターで消毒するとよいことが分かりました。
- ・家族が発熱した場合や感染したかなと思った場合の対応の仕方が分かりました。
- ・正しい手の洗い方を知り、すぐに実践しようと思いました。

☎総合クラブひろかわ事務局(教育委員会事務局生涯学習係内) ☎0943-32-0093

広川文芸

広川短歌会



父と母黄泉に寄り添い姉妹らをいつも笑顔で見守りくるる

姫野 洋子

一日が春夏秋冬の幕真近季節忘れの花咲きほこる

横山 方子

幼い日友らと喰った椎の実よ今は路傍に踏みつぶされる

蓮子 住雄

目に見えぬ耳に聞こえぬコロナ菌じわりじわりと津々浦々に

野中 勝美

まなうらに「絵島生島雪の舞」母に捧げし舞台たちくる

青木佳代子

一面の雪に覆われ静まれる大つごもりの朝の明けゆく

高橋 和子

「夢」といふ見事な文字の賀状受けテレビの横の壁に飾れり

原 千恵子

新春の裸木の坂を通り抜けこもれば抱きジャンプいちばん

美座 時朗

わたくしに必要なものコルセットリハビリそして地球の自転

鹿田 恵

積雪に子等のつくりし雪だるまニンジンの鼻ツンとすまして

結束 節子

大歳の昼のころより舞ふ雪はときのまにしようつすらと積む

野中ヨシ子

身一つで生きる野良猫さう言へばイプセンのノラも身ひとつだった

山下 整子

大人への一步踏み出す

広川町成人式

1月10日(日)、下広川小学校体育館で成人式が開催されました。平成12～13年生まれの対象者253人(男性132人・女性121人)のうち、約65%にあたる160人が出席。今年新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、参加者の制限や時間短縮など、規模を縮小して執り行われました。

渡邊町長は「これからは自分自身の目で社会の現実をしっかりと見据え、学び、判断し、自らの中に確かな考えをつくりあげてください」と新成人にエールを送りました。



田中佳奈
(古賀区)

大学進学を機に広川町を離れ、一人暮らしを始めました。知らない地での生活に不安を感じましたが、同時に、今まで私を育ててくれた両親への感謝を感じました。これからは広川町で出会った人とのつながりを大切に、多くの人の支えとなっていきたいです。



姫野リーザ由利子
(内田区)

両親や家族、先生、地域の皆さまなど、多くの人のおかげで、これまで自由に学び、経験し、今日を迎えることができました。未来は全く予測できません。不測の事態にも対応できるように、柔軟な思考や行動力、広い視野をもち、日々精進していきたいです。

新成人
による主張
(要約)



服部祐季
(当条区)

現在、大学で医学や医療技術を学びながら、臨床検査技師を目指しています。今まで多くの壁にぶつかりましたが、家族や友人、先生のおかげで、乗り越えることができました。未熟な部分もありますが、これまでの恩を返していけるように努力していきます。



安本陽貴
(北新代区)

私には「努力は報われないこともあるが、無駄なことはない」という座右の銘があります。努力したことが必ず成功するとは限りませんが、その経験は自分をつくり上げていきます。これからは多くのことに挑戦し、その経験を糧に、一歩ずつ前に進んでいきたいです。

宝くじの助成で公民館を整備

馬場行政区

馬場行政区が「コミュニティ助成事業」を活用し、地元公民館を整備しました。

コミュニティ助成事業とは、(一財)自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業の一つ。宝くじの受託事業収入を財源として、地域が自主的に行うコミュニティ活動に必要な備品や公民館の整備などに対し、助成を行っています。

馬場行政区は公民館を拠点としたさまざまな活動を行っています。施設の老朽化により、活動に支障をきたしていました。今回、公民館の整備で利便性が向上したことにより、さらなるコミュニティ活動の活性化が期待されます。



チーム一丸となり3位入賞 下広スターボーイズ



大会で、念願の優勝は逃してしまつたものの、チーム一丸となつて最後まで戦い抜きました。
下広スターボーイズは随時部員を募集中。経験は問いません。興味のある人は毎週(金)出(日)祝、下広川小グラウンドへお越しください。

12月に行われた「第20回八女スカイホーク杯少年野球大会」で、下広スターボーイズが3位の成績を収めました。6年生にとっては最後の大会です。

ホークスOBの直接指導 筑後七国中学生野球教室



12月25日(金)八女市岡山球場で筑後七国の中学生野球教室が行われ、広川中学校野球部19人が参加しました。子どもたちはソフトバンクホークスOBの incoming さん、新垣さん、城所さんからポジションごとに直接指導を受け、真剣に耳を傾けていました。

農業の発展に貢献 農業委員へ感謝状贈呈



12月7日(月)、農業委員として長きにわたり広川町の農業の発展、農業者の地位向上に貢献した3人へ、福岡県農業会議から感謝状が贈られました。
写真右から熊添泰行さん(一條区)、鹿田勝師さん(六田区)、原野利男さん(鬼ノ瀨区)

日常の買い物を支援 移動店舗販売スタート



1月5日(火)冷蔵機能をもつ販売車が町内24か所をまわる「移動店舗販売」が始まりました。日常の買い物が難しい人を支援するために行われており、実際に利用した人からは「買い物だけでなく、地域の皆さんとの交流の場になっている」との声が聞かれました。
町内在住であれば誰でも利用可能。実施場所など詳しくは福祉課高齢者支援係(☎0943・321113)へ。

良質なあまおう贈呈 JAいちご部会広川地区



12月28日(月)、JAいちご部会広川地区から渡邊町長へ、イチゴ「あまおう」が手渡されました。広川町は有数の「あまおう」の産地。「今年も広川産は大玉で品質も良く、市場で高く評価されています。コロナ禍で取引価格の下落が心配されましたが、昨年までと同様、高単価を維持できています」とJAいちご部会の渡辺嘉広さんから今年の出来が報告されました。

干支描かれた久留米餅を寄贈 長延上区 山村健さん



12月22日(火)長延上区の山村健さんから渡邊町長へ、干支の「丑」が織られた久留米餅のタペストリーが手渡されました。
タペストリーは山村さん自身が制作したもので、毎年寄贈いただいています。今年の干支である牛に加え、扇子と梅の花もあしらわれた華やかなタペストリーが、渡邊町長へ手渡されました。
今回寄贈いただいたタペストリーは、1年間町長室に飾られます。